

住民登録
5月1日現在

前月比
人口 72,552(-77)
{男 34,589
女 37,963}
世帯数 19,991(+74)

広報 おおだて

6月号 (No.215)

編集と発行 — 大館市役所 (電話)42-1212
発行年月日 — 昭和50年6月1日
発行日 — 毎月1日
広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかつたり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。
昭和43年3月1日第3種郵便物認可(1部5円)

拡張事業に37億9,000万円

— '56の完成をめざし今年から着工 —

水道

拡張計画

◇水道の経緯

本市の上水道は、昭和35年3月末に完成したものです。創設当初、1人当り1日、150ℓから最大200ℓで、24,000人分の4,800tでスタートしました。その後、水の需要度が高まったため、昭和41年から第1次の拡張計画を実施した結果、現在では1日最大給水量1万t、1人1日平均の給水量は350ℓ、給水人口が4万人になっています。

水道事業開始直後は同事業も順調に運営されていたのですが、その後、国庫補助金の不足をはじめ、物価高、3度の大火等の影響から、昭和40年度末で約1億円の赤字を背負い、水道財政はピンチに立たされました。

この窮地を打開するため、44年度に料金の改正を行うとともに、事務の改善、検針と集金の民間委託などの措置を講じてきたところ、すでに報じてきたように、この不良債務を48年度で解消することができたのです。

こうして、本市の上水道事業もようやく軌道にのり、合せて、水の需要が大巾に高まってきたため、第2次拡張計画を策定し、さる、12月の定例会議でこの計画が承認され、本年度から6カ年計画で拡張工事に着工することになったわけです。

◇計画のあらまし

第2次拡張計画によると、その給水区域は現在の18.75km²から42.92km²に拡張され、具体的には、上川沿地区、上代野地区、釈迦内地区、下川沿地区など、米代川を堺にした北側一帯に給水範囲を広げることとしており、この拡張によって、現在の釈迦内と川口簡水は上水道に統合される予定です。

また、給水までの過程は、中山地区の米代川の取水ゲートから取水された22,600m³の表流水を、沈砂池(兼ポンプ井戸)から導入ポンプ3台で山館地区に新設される浄水場に送ります。ここで急速ろ過法によって処理し、塩素滅菌したあと、浄水場の北側に設ける新配水池に揚水し、自然流下によって家庭に配水する方法です。

この事業には、現段階で約38億ものお金が見込まれていますが、この拡張計画事業が完成すると、1日最大給水量が25,400m³、1人当り1日最大給水量は470ℓ(現在は350ℓ)に増量されることになります。水道課では、新年度に入ると同時に現地測量を開始し、早やれば今夏から取水施設の工事に着工したいとしており、この大事業も、昭和56年度の完成をめざし、順調にすすめられているところです。

—— 既設給水区域
||||| 拡張給水区域

